

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

2019年度 柳津町立会津柳津学園中学校

学校だより

令和元年7月19日(金)発行 第 15 号 発行責任者:高橋 弘悦

多くの成果を残して第1学期終了 ご協力に感謝します

柳学中ブランドの構築・向上を目指して生徒たちと駆け抜けた1学期も本日をもって終了いたします。

「守破離(しゅ・は・り)」に当てはめれば、「破」にあたる2年目ですが、生徒の皆さん、保護者の方々のご協力で上々のスタートが切れたのではないかと思います。

開校二年目の今年は、まさに「破」の時期にあたり、良いものを取り入れ、自分に合った型をつくることにより既存の型を「破る」段階になります。文字通り、昨年度には表出しなかった「破」もありましたが、会津柳津学園中学校らしさを生み出すためには必要なプロセスでもあったと思っています。

数々の成果をあげた1学期が終了し、いよいよ夏休みとなります。生徒たちにとって有意義な夏休みになるよう、学校からのプリント、学級保護者会での話し合い、資料等をもう一度ごらんになって、お子さんの指導に万全を期していただきたいと思います。



柳津町中学生議会開催

16日、3年生28名が、柳津町中学生議会に参加しました。これまでの「子ども議会」が大変好評で、町の実際の施策にも取り入れられる提案もありました。そのため、この催しをより重視し、「子ども」ではなく「中学生からの意見」という位置づけをより明確にして、「中学生議会」と名称を変えての開催でした。傍聴に2年生も参加しました。

実際に町議会が開催される本会議場での開催、また議会中は生徒ではなく「〇〇議員」の呼称で呼ばれるなど、実際の議会と同様、厳粛で、緊張感のある議会となりました。

議会は、生徒の一般質問に対して町長さんや関連各課長さんが答弁するという、通常の



議会と同じ形式でした。議員さんも領いて聞き入り、町にとっても議会に参加した中学生にとっても大変意味のある議会になったのではないかと思います。

通知票の見方

通知票を上手に活用して

通知票の結果に一喜一憂する保護者の皆さんの気持ちは十分に分かりますが、次のような点から今後の意欲付けを図っていただけたらと思います。

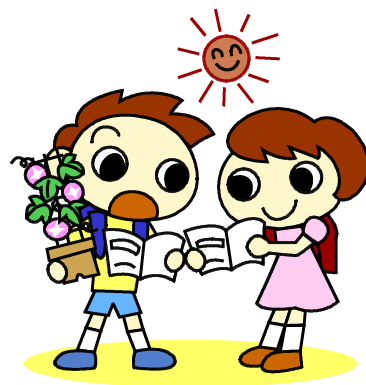
1 生徒本人が一番結果について納得しているものです。

①「学習への取り組みや構えは？」

- ・忘れ物で支障があったことはありませんか？
- ・準備や取りかかりはスムーズだったでしょうか？
- ・発表の仕方や発表の聴き方はどうだったでしょうか？

②「生活態度は？」

- ・集団のルールは守れましたか？
- ・基本的生活習慣は身に付いていますか？



2 得意な、興味のあるものを伸ばす方向で…………

・「こんなところが得意そうだね。もっとやってみようか。」「うっかりミスが多かったようだ。確かめをきちんとやるようにしてみよう」など、方向性が見えるようなアドバイスをしていただけたらと思います。

3 所見欄の活用を

「当たり前」といわれればそれまでですが、所見の欄を書くための担任の苦労は大変なものです。短い文章の中に本人のよさや可能性、今後の課題などを凝縮して書き込みます。担任の願いや思いが端的に表現してありますが、背景にはその数十倍もの思いがあることをご理解いただけたらと思います。

一般に数値として表れた評定に目がいきがちになりますが、通知票を「親と教師が協力して子どもを育てるための連絡帳である」ととらえれば、通知票で最も大切な部分ということができます。行間を読みとって適切なアドバイスをお願いいたします。

4 絶対評価で評定してあります。

一般に数値として評定されている5 4 3 2 1に目がいきがちになりますが、ぜひ観点別評価の部分にも目を向けていただきたいと思います。2学期はどの分野をがんばるのか、お子さんとの話し合いの話材としていただければ幸いです。

クマにご注意！

文書でお知らせしたとおり、学校付近でクマの目撃情報がありました。

クマは、早朝や夕刻に活発に動き回ることが多いようです。先日の文書を参考に、①単独行動を避ける ②自分の存在を知らせるために、音の鳴るものを身につける など、被害防止に向けてご協力をお願いいたします。



お手柄3人組

先日、町内で火事になる寸前の出来事がありました。通りかかった中学生五十嵐祐太くん、岩佐陽生くん、目黒 楓くんの3人が通報し、事なきを得たと、副町長さんがわざわざおいでになり、報告していただきました。支えられる存在から町を守る存在となった中学生…。誇らしい限りです。